

青年部会だより

部会長 西村 俊一

新緑が眩しいほどの素晴らしい季節となりました。皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より青年部会の活動に格別のご理解と多大なるご協力を賜っておりますことに対し、部会員一同深く感謝しております。部会を代表致しまして厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年度の活動におきましては、新型コロナウイルスの影響もあり、年明け以降の事業は延期・中止となる事態が発生いたしました。この余波はまだまだ続くと思われませんが、この事態をプラスに捉え、部会の活動や日々の働き方、家族との過ごし方などを再考するきっかけとしたいものです。

今、思い起こせば令和元年度の「今年の漢字」は「令」でした。第125代天皇が退位され（讓位）、皇太子徳仁親王が天皇に即位、元号が「令和」に改元される大きな節目の年でもありました。また、“平成おじさん”と話題となった小渕恵三元首相が「平成」の元号を発表した当時はバブル経済絶頂期を迎え、日経平均が3.9万円近くまで上昇し不動産価値も大都市では10倍ほどに価格が跳ね上がる空前の好景気だったそうです。当時小学生だった私はバブルの恩恵は受けていませんが、当時の空気感はテレビやラジオの情報で薄ら覚えていきます。

昭和の時代は満州国建国や太平洋戦争、大日本帝国から日本国へ、電化製品の三種の神器、アジア初の東京五輪などさまざまな事象があったのに対し、平成の時代は阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件、東日本大震災、アメリカ同時多発テロなどの出来事があり、人的・物的に大きな被害が出た時代でした。令和の時代は新型コロナで始まり、今後どのような出来事がおこるのでしょうか。これからはグローバル化や働き方の多様化、IoT化、少子高齢化などがますます進み、さらに激動の時代になっていくことでしょう。

令和2年度の「今年の漢字」は、明るい漢字になりますよう切に願いたいものです。

青年部は令和2年で発足39周年を迎えました。40周年に向けて邁進するとともに、今日が在りますのは、ひとえに諸先輩方や協会員各位のお陰によるものと、ここに深く感謝を申し上げます。

今年度も引き続き、部会員の卒業・新会員の参加など大きく様変わりするものと思われまます。新会員の皆様の新しい風を取り入れながら、青年部会設立時の基本理念である『次期をになう若人が結集し親睦を深め、業界の発展強調を期する』という心を持ち、今の状況に適した運営を検

討し推進していくことで、皆様からご意見、ご協力をいただける部会を目指していきたいと考えております。

今後とも、皆様からのご支援・ご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。



(第10回ノシバ会ゴルフコンペ 屋島カントリークラブにて)

● 青年部 令和元年度事業報告 ●

R1.6.7	第38回通常総会	協会事務所
R1.9.7	第10回ノシバ会ゴルフコンペ	屋島CC
R1.11.4	親協会主催ボランティア事業	恵愛学園
R1.11.17	設備設計協会主催ソフトボール大会	東部運動公園
R1.11.22	忘年会	隠れ家 鳥新
R1.12.22	親協会主催ボランティア事業	亀山学園